

は し が き

私は昔、歌手になりたいと思っていました。中学、高校時代は暇さえあればレコードやラジオで英語の歌ばかり聴いて過ごしていました。結局、歌手になるという私の夢はかないませんでした。自分自身の経験から、歌というオーセンティックな素材を通して、あらゆる角度から興味を持って英語を学んでいく方法はないかと考えるようになり、その第一歩として実現したのがこのテキストです。

毎年数限りなく生み出されるヒット曲の中で、最高の感動を人々に与え、音楽、詞、歌唱力においてその頂点に輝いたグラミー受賞曲は、アメリカ音楽史に残る名曲といえます。レコード業界で最も栄えあるグラミー受賞式におけるパフォーマンスは、その年のノミネーションの中から決定されますが、そこで歌う機会を与えられるということはアーティストにとって、このうえない荣誉といえるでしょう。利用者の方には、受賞式の感動的なライブパフォーマンスを堪能しながら、楽しく英語を学んでいただきたいと思います。

テキストの練習問題は実際に歌を聴いておこなうリスニングコンプリヘンションに関する問題と、聴いた後の発展問題との二つの段階に分かれています。各レッスンの練習問題は以下の通りです。

Listening for Gist: 最初から歌詞のすべてを聴いて理解しようと思うのではなく、歌のタイトルや、耳に残ったいくつかの語句から“Gist”、すなわち「要点・主意」を推察、理解するように努めてください。

Listening for Details: 細部の聴き取りは耳に頼りすぎず、文脈や自分の持っている文法的知識、常識を最大限に活用して、「考えながら」リスニングに取り組むという姿勢を身につけることを第一の目的としていますので、歌を聴く前に必ず歌詞全体に目を通し、空欄にはいる単語を予測してみるという作業を行ってください。

Comprehension Questions: 歌詞全体から、内容に関する理解をさらに深めるために設けられた問題です。飽きがこないように、いくつかのタイプの練習を用意していますので、リスニングの仕上げとして活用してください。

Words and Phrases: 歌に出てきた語句の意味を理解し、実際に文章の中で使えるようになるための練習問題です。こちらから提示する部分は最小限に抑えてありますので、必要に応じて辞書などを活用しながら、自分の言いたいことを文にするように心がけてください。

Discussion Questions: 歌で扱われたテーマや関連のある事柄に関して、具体的、客観的な意見を、英語または日本語で発表する練習を行います。事前に準備して発表する形式でも、その場で準備なしに発表する形式でも構いません。質問の内容によって使い分けをいただくことをお勧めします。

どのような歌にもメッセージが込められていますし、歌は私たちにその背後にある文化や時代、物の考え方に接するきっかけを与えてくれます。今まではただ何となく聴き流すだけに終わっていた曲でも、その内容を理解することによってより身近なものを感じる、延いては英語や社会に対する感心が高まっていく。本書をそんなプロセスの手助けにしていいただければ幸いです。

最後になりましたが、本テキストの作成にあたりご協力いただいた(株)ワ-ナ-ミュージック・ジャパン、英文を校閲し貴重なアドバイスをくださった Ms. Deborah Iwabuchi、ならびに長年にわたり私を励ましつづけ、このように貴重な機会を与えてくださった金星堂編集部の嶋田和成氏に、心から御礼申し上げます。

2000年1月

津田 敦子